

2012年  
8月1日

No.146

# さざなみ

〒520-0043  
大津市中央1丁目5-25  
小堀マンション2030号室  
**さざなみネット**  
(金融労連・全国金融産業労働組合滋賀分会)

## 原発ゼロの日本を

## 子どもたちを守れ

## 17万人が埋めつくす

原発ゼロを求める国民の意思が東京・代々木公園に結集しました。7月16日に開かれた「さようなら原発10万人集会」。炎天下、全都道府県から参加した17万人が、野田内閣に原発からの撤退を迫りました。

この日の集会は、大江健三郎さんら著名9氏が呼びかけたもの（呼びかけ文 裏面）。代々木公園周辺は、

幼い子を連れた若い夫婦や、白いタオルを首にかけたお年寄りなどで埋まりました。

滋賀県からは、「ばいばい原発守ろうびわ湖連絡会」が呼びかけたバス2台と新幹線などで130人以上が参加。さざなみネットからは、奥村さん、植木さんが参加しました。

## ひとつの目標と願いを込めて行動 すばらしい

原発の再起動に反対するため、私なりに何か出来ることがないだろうかと思っていた矢先、東京で「さようなら原発10万人集会」が行われると聞き参加しました。この日はとても暑く本当に10万人の人が集まるのだろうかと思いましたが、いつの間にか人、人、人で、広い代々木公園がいっぱいになり、暑さと人の熱気でみなぎり、17万人の参加と聞きびっくり、大飯原発再起動はありえない、政府のあまりにも無責任な態度に抗議し、みんなで変えようと結集されたのだと思いました。

呼びかけ人のメッセージの中で印象に残っているのは、落合恵子さんの「命あるものは全て生きる権利がある。人間だけではなく植物・動物・どんなに小さいものであっても原発から守らなけ（裏面へ）」



岩波 美智子さん 画



代々木公園で

（前頁から）ればならない」という言葉でした。一人一人が出来る事から行動に参加しなければと思いました。本当にすばらしい集会でした。

わが町石部の人口12,000人の14倍の人で、私の廻りは人ばかり、行進の時後を振り向けば、旗と人の行列、ひとつの目標と願いを込めて行動することは素晴らしいものですね。90歳の瀬戸内寂聴さんを見習わなければなりません。負けておられません。

（奥村）

## 命に勝るものはない

とにかく早めに会場へ、集会が始める前に第1ステージに入れました。歌が始まるころには、いっぱいの人、命に勝るものはありません。原発はゼロにと言い続けよう。

（植木）



滋賀従組・先輩組合などととともに

## 【呼びかけ文】 7・16「さようなら原発10万人集会」への呼びかけ 原発はいらない！この声で、代々木公園を埋め尽くそう

福島第一原発で発生した、世界最大級の過酷事故によって、日本の豊かな自然——田んぼや畑、森、林、川、海、そして雲も空も放射能によって汚染されました。原発周辺で生活していた多くのひとびとは、家も仕事も失い故郷を追われ、散り散りになっていつ帰れるかわからない状態です。

福島のみならず、さまざまな地域のひとびと、とりわけ子どもたちやちいさな生物に、これからどのような悪影響がでるのかの予測さえつきません。

メルトダウン（炉心溶融）とメルトスルー、そして原子炉建屋の水素爆発という、あってはならない最悪事態はいまだ収束されず、圧力容器から溶け出た核燃料の行方さえ把握できない状況です。

さらに迫り来る大地震が、原発を制御不能の原爆に転化する恐怖を現実のものにしようとしています。それにもかかわらず政府は、電力会社や財界の要求に応じて、やみくもに再稼働を認めようとしています。

日本に住むひとびとの8割以上が、「原発は嫌だ」と考えています。世界のひとたちも不安を感じています。しか



しその思いを目に見える形で表現しなければ、原発を護持・存続させようとする暴力に勝つことはできません。私たちはいまこそ、日本の指導者たちにはっきりと、「原発はいらない」という抗議の声を突きつけましょう。

電気はいまでも足りています。さらに節電ができます。いのちと健康を犠牲にする経済などありえません。人間のための経済なのです。利権まみれの原発はもうたくさんです。反省なき非倫理、無責任、無方針、決断なき政治にたいして、もう一度力強く、原発いやだ、の声を集めましょう。



### 要請事項

- 1、停止した原子力発電所は運転再開せず、廃炉にする。建設中の原発と建設計画は中止する。
- 2、もっとも危険なプルトニウムを利用する、高速増殖炉「もんじゅ」と再処理工場の運転を断念し、すみやかに廃棄する。
- 3、省エネ、持続可能な自然エネルギーを中心に据えた、エネルギー政策に早急に転換する。

2012年5月5日  
全原発停止の日

内橋克人 大江健三郎 落合恵子 鎌田慧  
坂本龍一 澤地久枝 瀬戸内寂聴 辻井喬 鶴見俊輔